

地域の話題紹介コーナー

下町

公民館を飛び出して、ホットでワンダフルな話題をお届け!



食事や交流を楽しむ来場者の皆さん



手作りゴムでっぽうの射的に夢中な子供たち



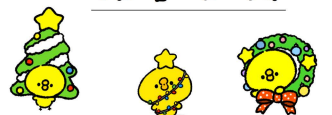
町内会役員や高校生ボランティアも活躍



ステージ披露で盛り上がる会場



12月の
行事予定



豊里公民館だより 発行: 豊里コミュニティ推進協議会 〒987-0362 宮城県登米市豊里町小口前80番地 TEL 0225-76-2237 FAX 0225-76-1946

今月の見どころ!

世代を超えた笑顔とつながりの収穫祭

今回は下町地区の集会所で11月9日に開催された「収穫祭・交流会」におじゃましてきました。

会場では豚汁や焼肉、焼きそばの振る舞いはじめ、野菜や海産物の販売も行われ、多くの来場者で賑わいました。屋内ステージではフラダンスやカラオケが披露され、拍手と笑顔があふれる和やかなひとときとなりました。

町内会長の佐々木直美さんは「地区内外を問わず、たくさんの方々に集まって楽しんでもらうことが目的。難しいこと抜きで、子どもからお年寄りまで交流を楽しんでほしい」と話します。

食材を提供した有限会社ピッグ夢ファーム(本社・下町)の佐々木了代表取締役は「地

元で事業を続けられるのは地域の皆さんのご理解のおかげ。感謝の気持ちを込めて参加した。地域がこうして盛り上がるのは素晴らしい」と笑顔で語りました。

ボランティアスタッフとして参加した高校生は「年に一度だがこのような会があって楽しい。参加しやすい」と話していました。

地域のつながりが薄れがちな時代の中で、こうした行事を通じて人と人とが顔を合わせ、声を掛け合う機会を大切にする下町町内会の想いが伝わりました。

世代を超えて助け合い、笑顔で過ごす時間を積み重ねることが、地域の絆を育てていく。そうした支え合いの大切さを感じる一日となりました。

公民館だより

TOYOSATO COMMUNITY

No. 152

12月号

令和7年12月1日発行



←買い物を楽しむ来場者でにぎわう会場

←開店直後から大人気の新鮮野菜



11月2日に開催された「軽トラ市」(主催: 豊里地域づくり部会)は、秋晴れの空の下、多くの来場者で大にぎわいとなりました。

今年は出店数が昨年より大幅に増え、新鮮な野菜やハンドメイド雑貨、キッチンカーなど計31店舗が並び、500人を超える来場者が買い物やハンドメイド体験、グルメを満喫しました。

さらに今年は「昭和100年 メモリーコーナー」と題し、おもちゃや白黒写真、昭和30～50年代の豊里町広報紙などを展示。懐かしい記憶を振り返る場となりました。

来場者からは「毎年楽しみにしている」「食べ物も体験も充実して楽しかった」との声が寄せられ、公民館の恒例行事として定着しています。



←キーホルダーづくりを体験するご家族



←当時の写真や広報誌で「昭和」を紹介

★牧野精工株式会社 宮城工場様と特別養護老人ホーム 松風園様に運営のご協力をいただきました★

腸活みそ講座を開催

手作り味噌で腸から元気に！



味噌の栄養と健康効果を学ぶ講座を10月20日に開催しました。

講師は、6月に実施した「麴」の講座が大変好評だった仙台市のきくちひとみ先生です。今回は、味噌に関することわざを交えながら、病気の予防やコレステロールの抑制など、味噌の持つ健康効果について分かりやすく教えていただきました。

後半は、なんと一日で完成する味噌の作り方を紹介。炊飯器を使って効率的に発酵させるユニークな方法を、先生のデモンストレーションを見ながら学びました。

先生おすすめの大豆は、宮城県の在来種である「ミヤギシロメ」。ほんのりとした甘みがあり、仕上がった味噌は優しい味わいになるそうです。

質問タイムでは、炊飯器の温度設定や保存のコツなど熱心な質問が相次ぎ、講座終了後も先生を囲んで活発な交流が続きました。

今回の講座を通して、参加者の皆さんからは「気軽に味噌づくりに挑戦してみたい」という声が多く聞かれ、手作りに対する意欲や、発酵食への関心の高さがうかがえました。



50人を超える参加者が集まりました



大豆や麴など、味噌づくりの材料

わくわく社会体験

11月2日
ステップ4
軽トラ市で
サツマイモ販売



サツマイモを販売した子どもたち



たくさんのお客さんが来てくれました

「わくわく社会体験」の4回目は、参加者の小学生が軽トラ市でサツマイモの販売を体験しました。

朝早くから公民館に集合し、サツマイモの袋詰めや手書きの値札貼りをして準備は万端。

開始の合図とともに「いらっしゃいませ!」「サツマイモいかがですか!」と元気いっぱ

いに声をかけ、次々とお客さんが立ち寄り購入してくださいました。

約160袋を用意したサツマイモはすべて完売し、子どもたちはほっとした表情と達成感に満ちた笑顔を見せていました。

販売後は他の店舗も見学し、一日を通して貴重な体験となりました。



サツマイモの袋詰めと値札貼り

交通死亡事故ゼロ

5500日達成



出席者で記念撮影

豊里コミュニティ推進協議会は10月6日に交通死亡事故ゼロ5,500日を達成し、「登米市交通安全対策協議会長」の熊谷康信登米市長

と「登米警察署」の佐藤光英署長から表彰を受けました。

10月21日に豊里公民館で行われた表彰式には、「豊里コミュニティ推進協

議会」の佐々木伸雄副会長、「豊里町交通安全母の会」の八木しみ子会長、「豊里地区交通安全指導隊」の男澤孝芳隊長が出席しました。

熊谷市長は、「約15年もの長期間にわたり、交通死亡事故が発生していないという事実は、地域の皆様の高い交通安全意識と長年に渡るご努力の賜物であり、深く敬意を表する次第であります」と話しました。

また、代表で褒状を受け取った佐々木副会長は、「約15年間、無事故で過ごせたのは本当に素晴らしいことですが、それで終わりではなく、今後も20年、30年と続いていけるように、引き続き気をつけながら、交通安全の大切さを地域みなさんと一緒に頑張っ



いけばな教室の様子（文化祭前日）

11月1日から2日間にわたり、登米市豊里地区市民文化祭（主催：登米市豊里文化協会）が豊里公民館で開催されました。

大ホールには、町内の皆さんによる絵画や書道など、心のこもった作品が数多く展示されました。また、公民館いけばな教室の皆さ

んが前日に生けた華やかな作品も並び、来場者の目を楽しませました。

中ホールでは、芸能発表会が行われ、日本舞踊やコーラス、三味線、太鼓など、多彩な演目が披露されました。会場は終始温かい拍手に包まれ、大いに盛り上がりしました。

みんなでつくる文化の祭典 多彩な作品と演目披露



舞台発表的一幕と展示会場